

PockThea ユーザーマニュアル

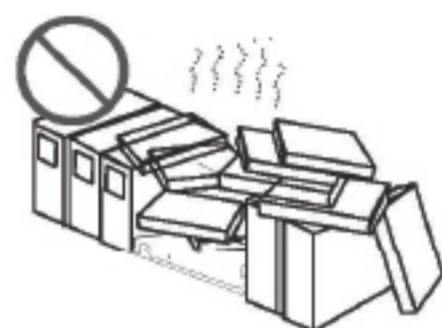
安全に使用するために	01
注意	03
同梱物	04
概要	05
リモコン	06
電源オン/オフ	07
フォーカス	08
使用を始める	09
HDMI 入力	10
USB 接続	11
ネットワーク設定	12
iOS ケーブルキャスト	13
iOS キャスト	14
MiraCast	15
WindowsCast	16
DLNA	17
プロジェクターの設定	18

このデバイスを使用する前に、すべての指示をお読みください。本書に記載されていない変更や設定を行わないでください。物理的損傷、データの損失、または指示に従わなかったために損傷が生じた場合、保証は適用されません。

【設定】

1. 火災や感電の危険を軽減するため、デバイスを雨や湿気にさらさないでください。花瓶などの液体の入った物体をこのデバイスの上に置かないでください。
 2. このデバイスをテーブルクロスやカーペットなどの柔らかい表面の上に置かないでください。火災の危険がある可能性があります。
 3. 本装置を塵や埃の多い場所、または強い磁場を発生する機器の近くに置かないでください。
 4. 過熱を防ぐため、通気孔をふさいだり詰まらせたりしないでください。
 5. このデバイスを密閉空間に絶対に置かないでください。換気のために、このデバイスの周囲には常に十分なスペースを確保してください。
 6. このデバイスを直射日光、熱、大きな温度変動、湿気に過度にさらさないように保護してください。極端な温度を避けてください。このデバイスと付属品の適切な動作および保管温度は (0° F ~ 95° F) です。
 8. このデバイスは常に注意して取り扱ってください。レンズに触れないようにしてください。監督なしでは子供に装置を扱わせないでください。
- シオン。
7. 本装置を長時間使用すると、表面が熱くなることがあります。すぐにシャットダウンし、充電器のプラグを抜きます。本装置が冷えてから運転を再開してください。
 9. このデバイスの上に重い物や鋭利な物を置かないでください。
 10. 感電を避けるため、デバイスを分解しないでください。
 11. メーカーが指定したアタッチメントまたはアクセサリのみを使用してください。
 12. 内部コンポーネントが損傷する可能性があるため、極度の振動を避けてください。

以下の安全上の注意により、火災や感電を避けるためにプロジェクターの耐用年数を長くすることができます。
以下の警告をよく読み、注意してください。



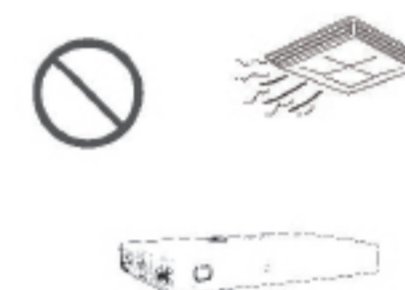
換気が不適切な場所にプロジェクターを設置しないでください。



プロジェクターを高温多湿な場所に設置しないでください。



プロジェクターを温度および煙の報知器の近くに設置しないでください。センサー故障の原因となります。



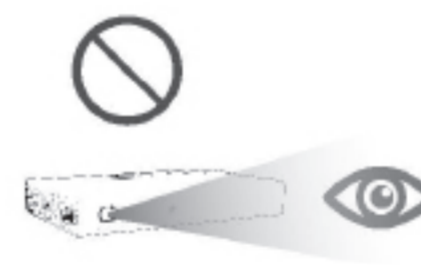
エアコンの温風や冷風が直接当たる場所には設置しないでください。



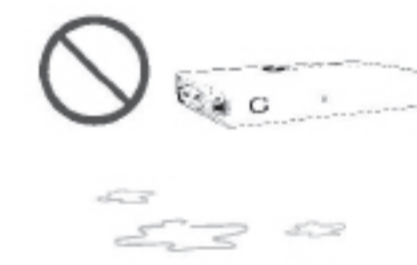
プロジェクターの通気孔を何かの物で覆わないでください。



粉塵や煙の多い場所にプロジェクターを設置しないでください。



プロジェクターの動作中にレンズを覗き込まないでください。目を傷つける可能性があります。



プロジェクターは防水ではないため、水やその他の液体がかからないように注意してください。

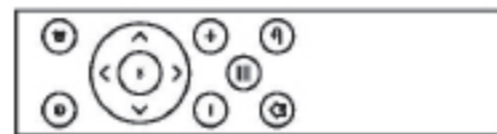
- (1) 電源ケーブルは無理に曲げないように注意してご使用ください。電源ケーブルが損傷すると、感電する可能性があります。
- (2) 落下や衝撃により内部部品が破損する恐れがありますので、プロジェクターを使用する際は十分ご注意ください。
- (3) プロジェクターに表示されているのと同じ電源電圧を使用してください。
- (4) 最良の結果を得るために、プロジェクターは暗い部屋で使用してください。
- (5) ご自身でプロジェクターを分解しないでください。分解しないと保証が無効になります。
- (6) プロジェクターを長期間使用しない場合は、電源を切り、電源プラグを抜いてください。

Package List

同梱物



プロジェクター×1



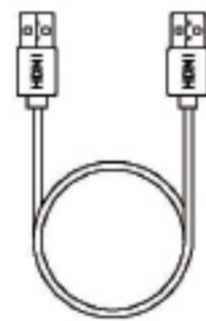
リモコン×1
(電池は付属していません)



電源アダプター×1



ミニ三脚×1



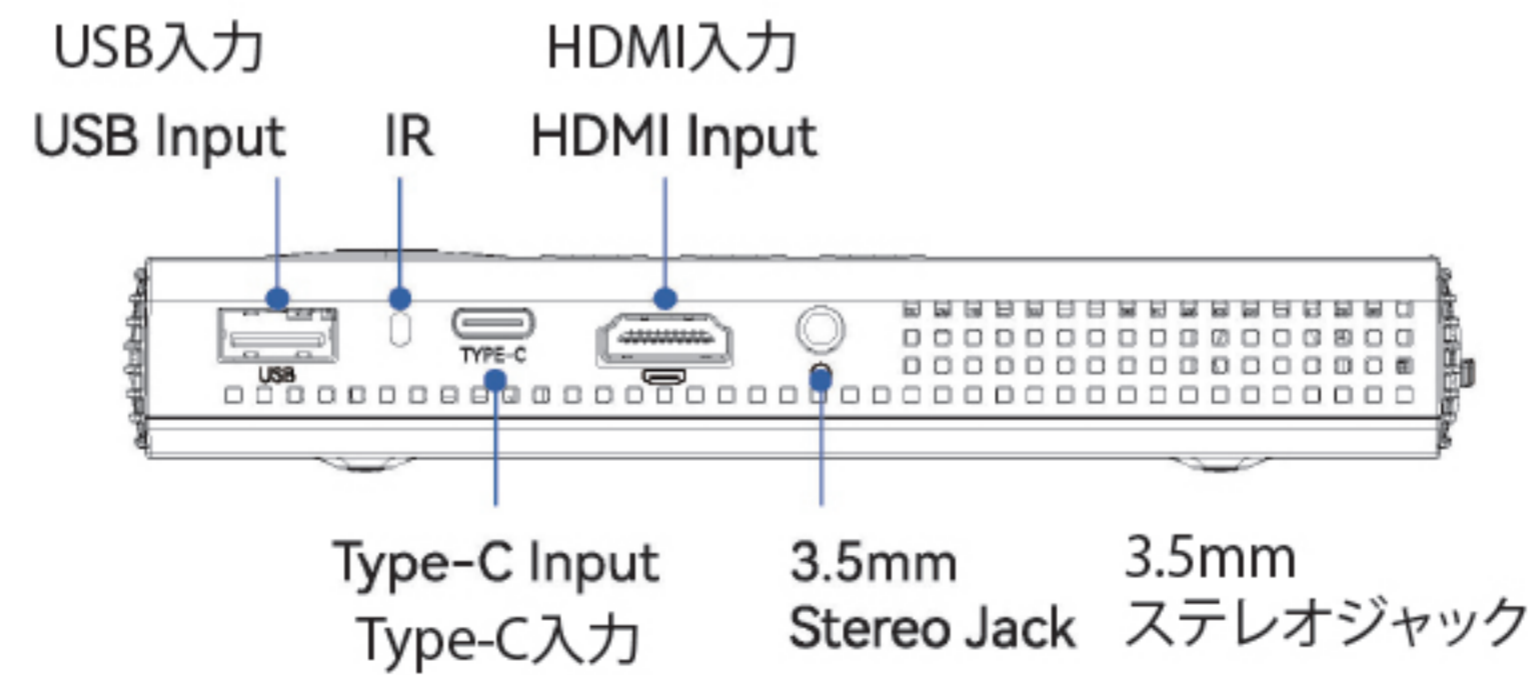
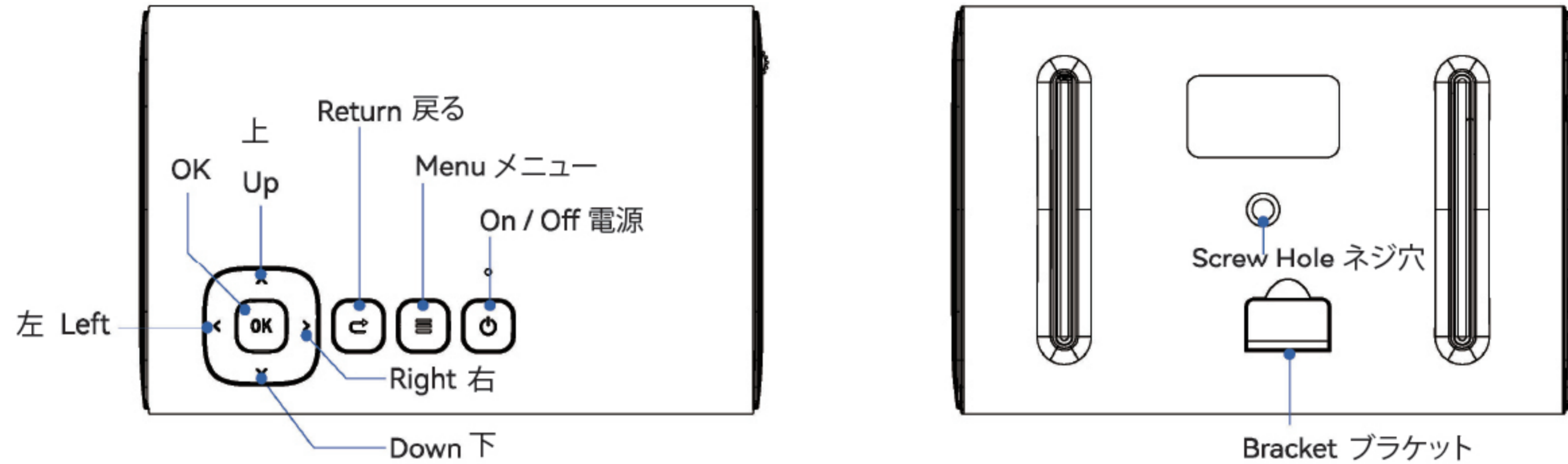
HDMIケーブル×1

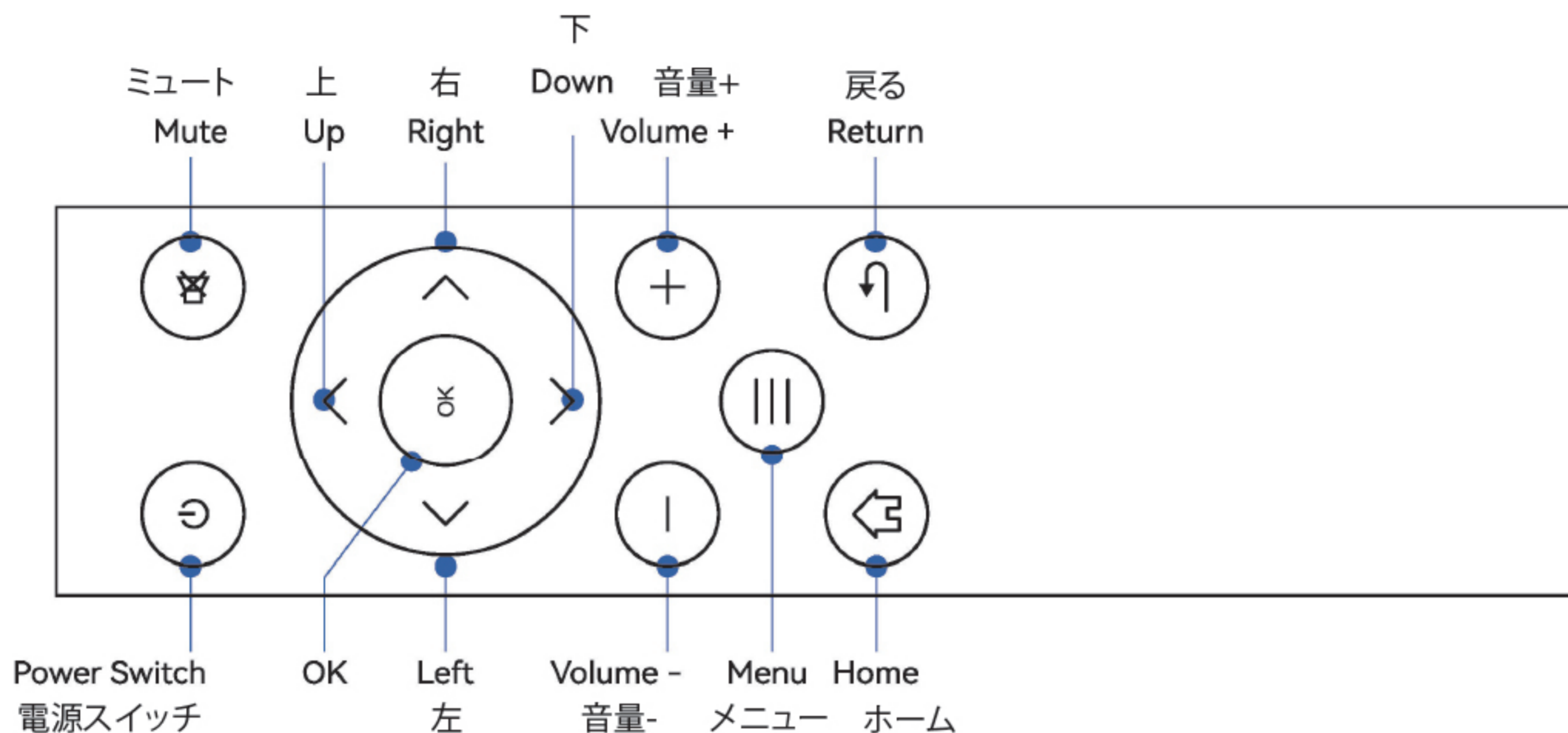


Type-Cケーブル×1



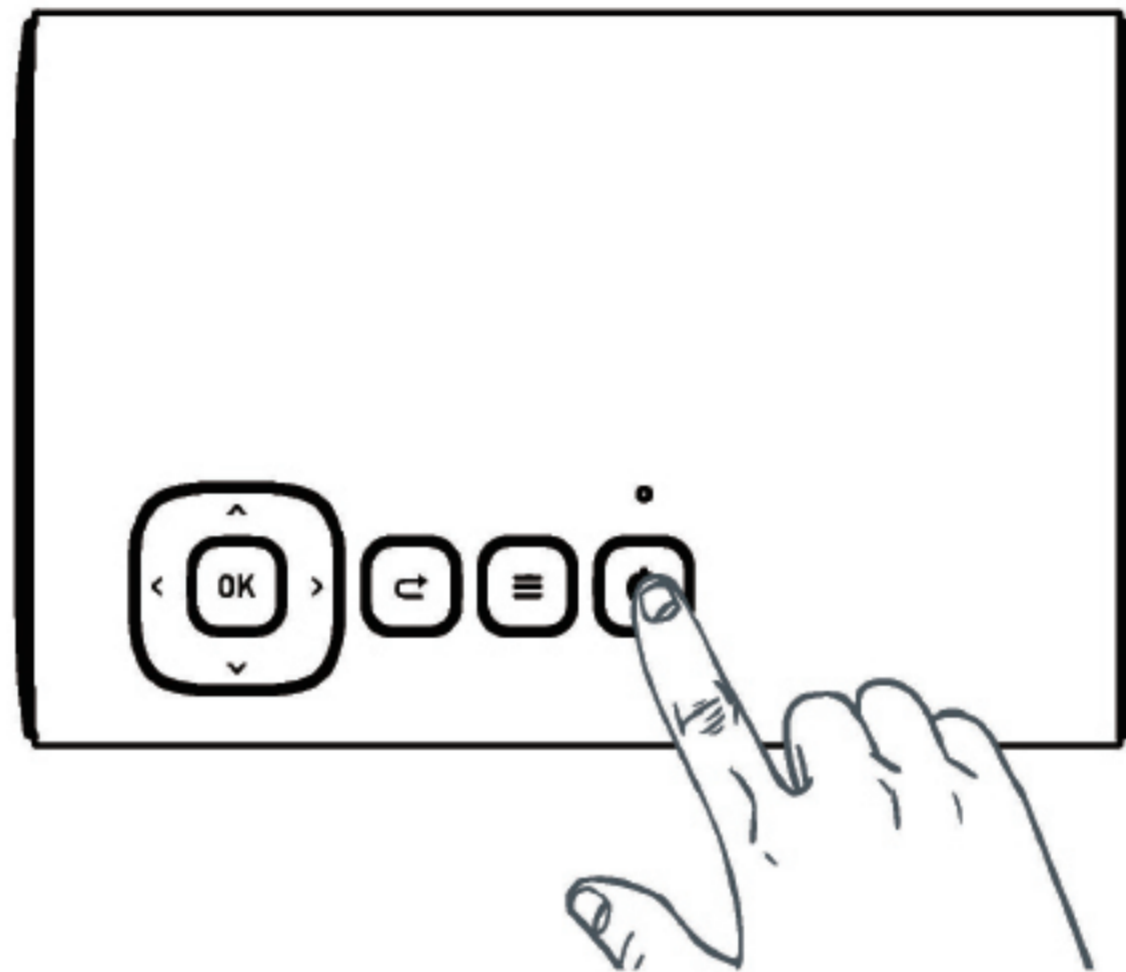
プロジェクター取扱説明書 × 1



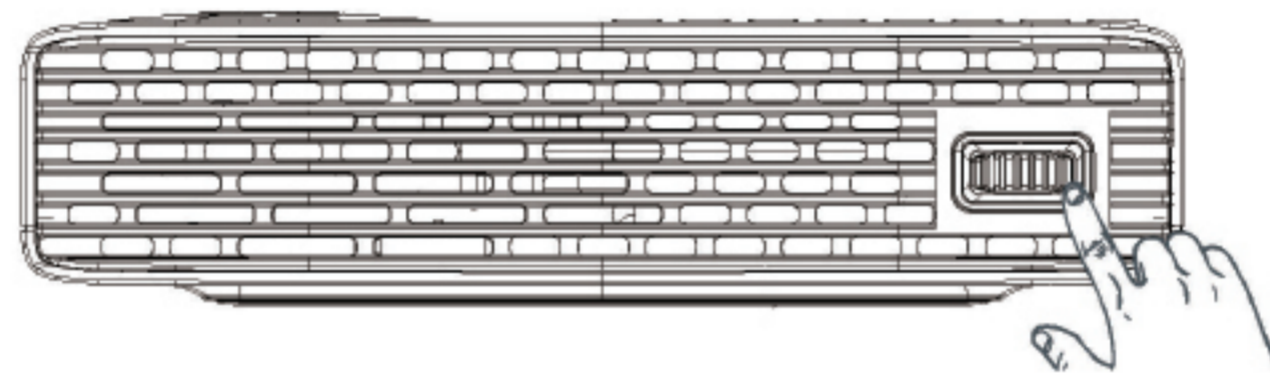


注意:

1. リモコンを水に浸さないでください。
2. リモコンを火の近くや湿気の多い場所、高温の場所に置かないでください。
3. リモコンに古い電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。
4. リモコンを長期間使用しない場合は、電池の液漏れを防ぐため、電池を取り出してください。
5. リモコンをIR レシーバーに向けてください。
6. 6メートルの距離と30度の角度以内でリモコンを簡単に使用できます。



1. 電源オン: プロジェクターの電源がオフのときに、プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを2秒間押し続けて、プロジェクターの電源をオンにします。
2. 電源オフ: プロジェクターの電源がオンのときに、プロジェクターまたはリモコンの電源ボタンを2秒間押し続けて、プロジェクターの電源をオフにします。



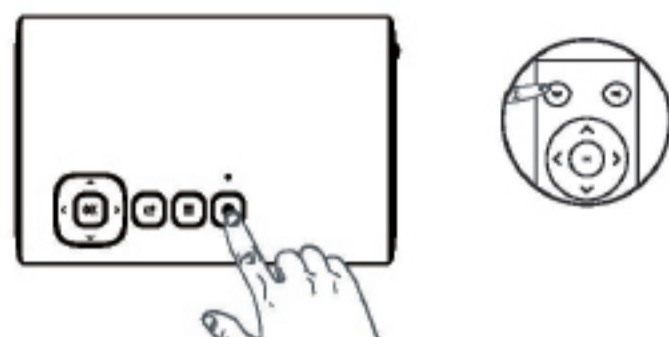
プロジェクターの右側にあるフォーカス ホイールを回して、シャープネスを調整します。

Getting Started

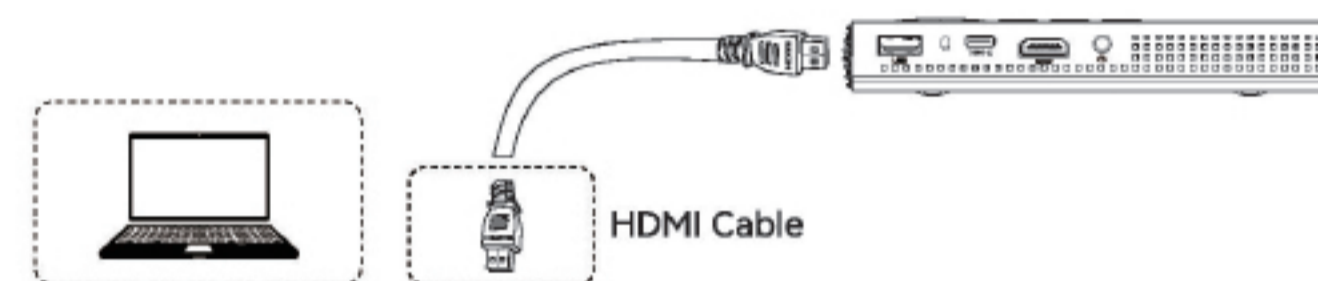
はじめる



1. 電源ケーブルをプロジェクターに接続します。



2. 電源ボタンを押して
プロジェクターの電源を入れます。



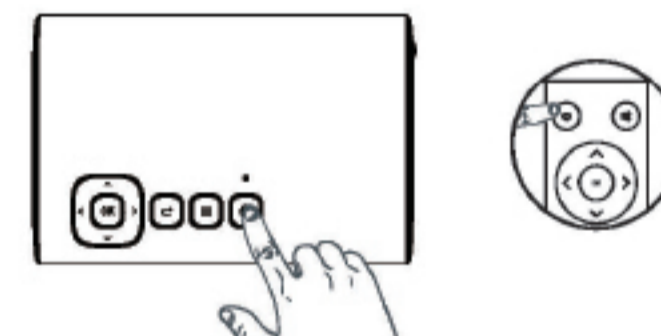
3. プロジェクターを HDMI 対応機器に接続します。



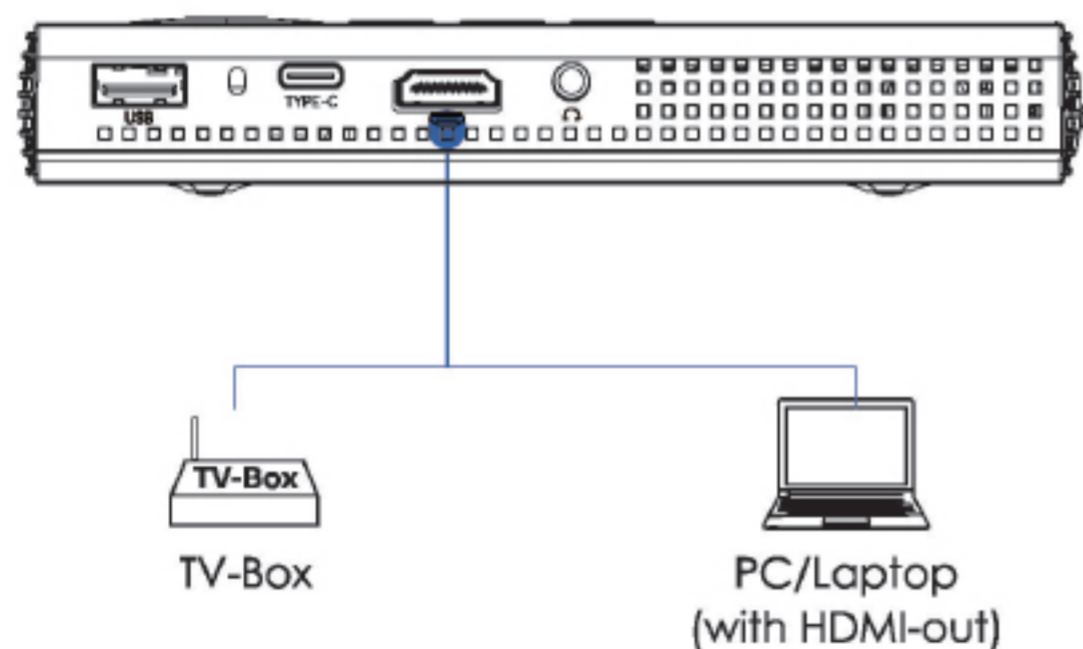
4. ミニ三脚をプロジェクターの
底部の穴に取り付けます。



5. プロジェクターの右側にある
フォーカス ホイールを回して、
シャープネスを調整します。



6. 電源ボタンを押して
プロジェクターの電源をオフにします。

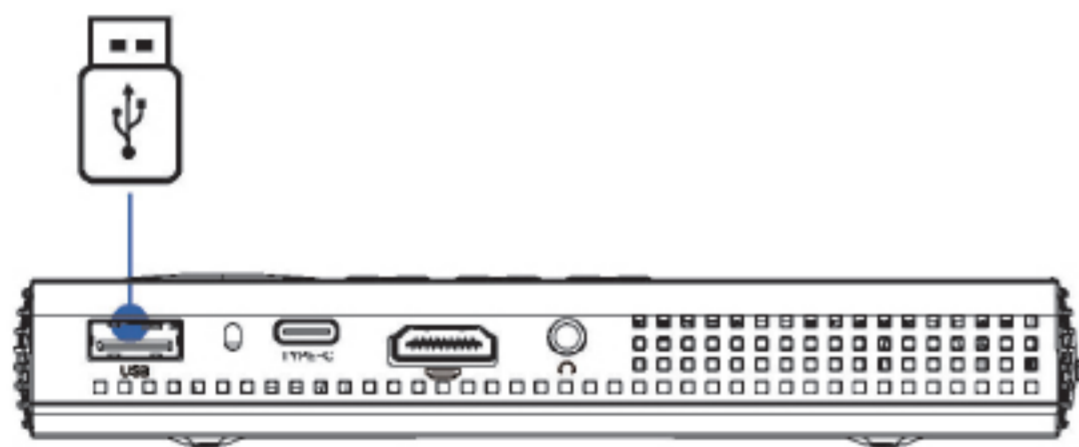
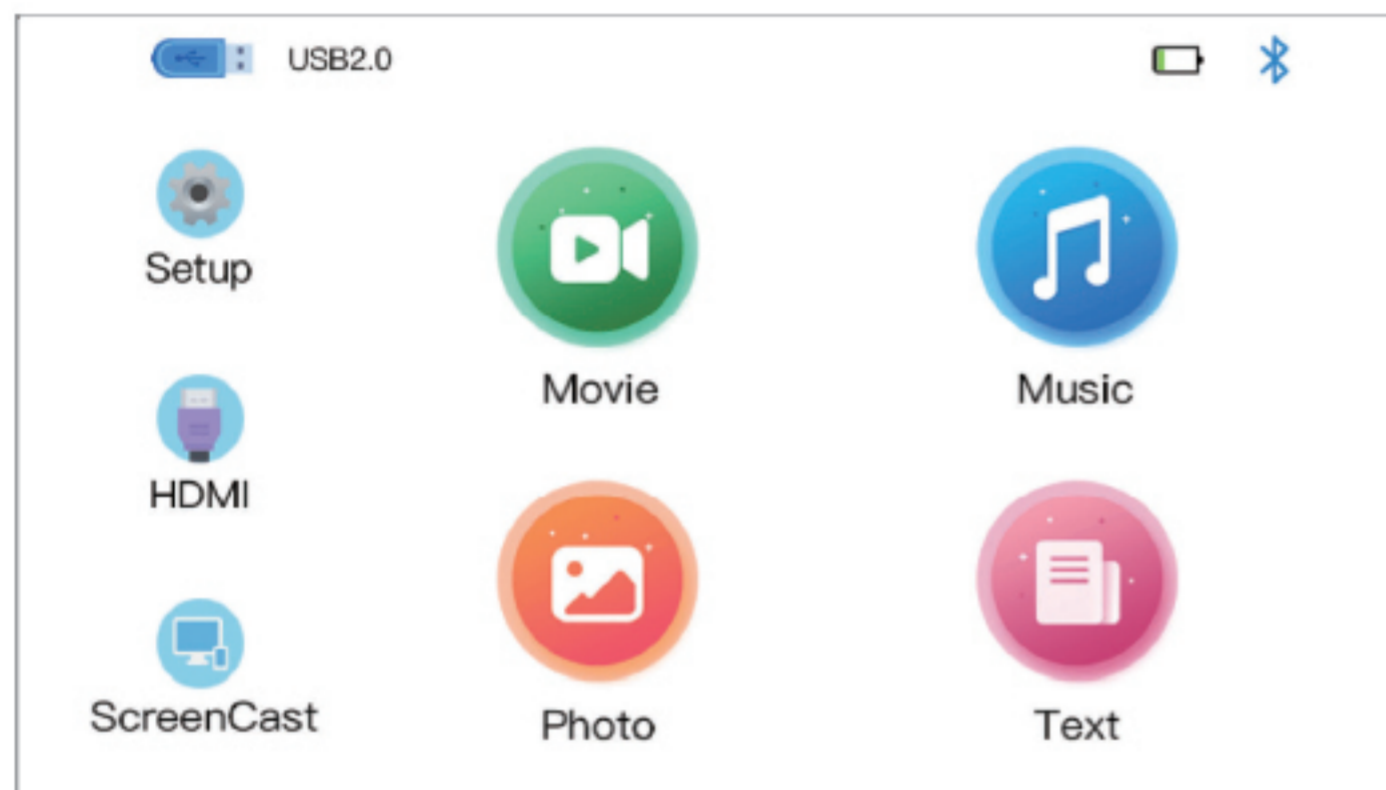


HDMI

プロジェクターと入力機器を HDMI ケーブルで接続し、メニューの HDMI をクリックして表示します。

【HDMI および HDMI High-Definition の用語】

マルチメディア インターフェイスおよび HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



USB メモリー内のビデオを再生する
USB フラッシュ ディスクをプロジェクターの背面にある USB ポートに接続し、メニューで「ムービー」を選択してローカルビデオを再生します。



USB メモリー内の音楽を再生する
USB フラッシュ ディスクをプロジェクターの背面にある USB ポートに接続し、メニューで「音楽」を選択してローカル音楽を再生します。

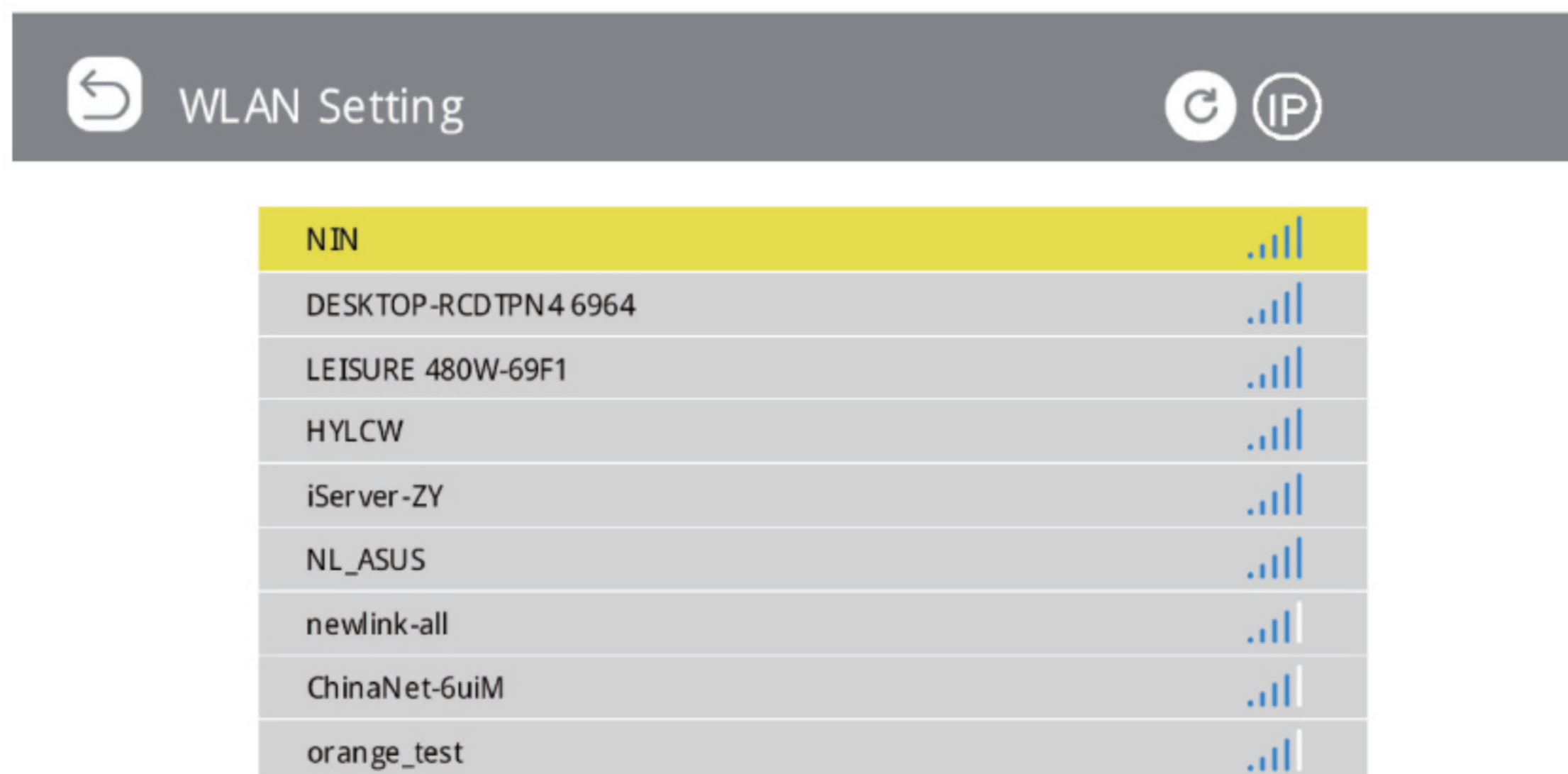


USB メモリー内の写真を読む
USB フラッシュ ディスクをプロジェクターの背面にある USB ポートに接続し、メニューで「写真」を選択してローカルの写真を読み取ります。



USB メモリー内のテキストを読む
USB フラッシュ ディスクをプロジェクターの背面にある USB ポートに接続し、メニューでテキストを選択してローカルテキストを読みます。

「セットアップ」 - 「接続設定」 - 「Wi-Fi」と入力して、Wi-Fi リストからワイヤレス ネットワークを選択し、接続用のパスワードを入力します。

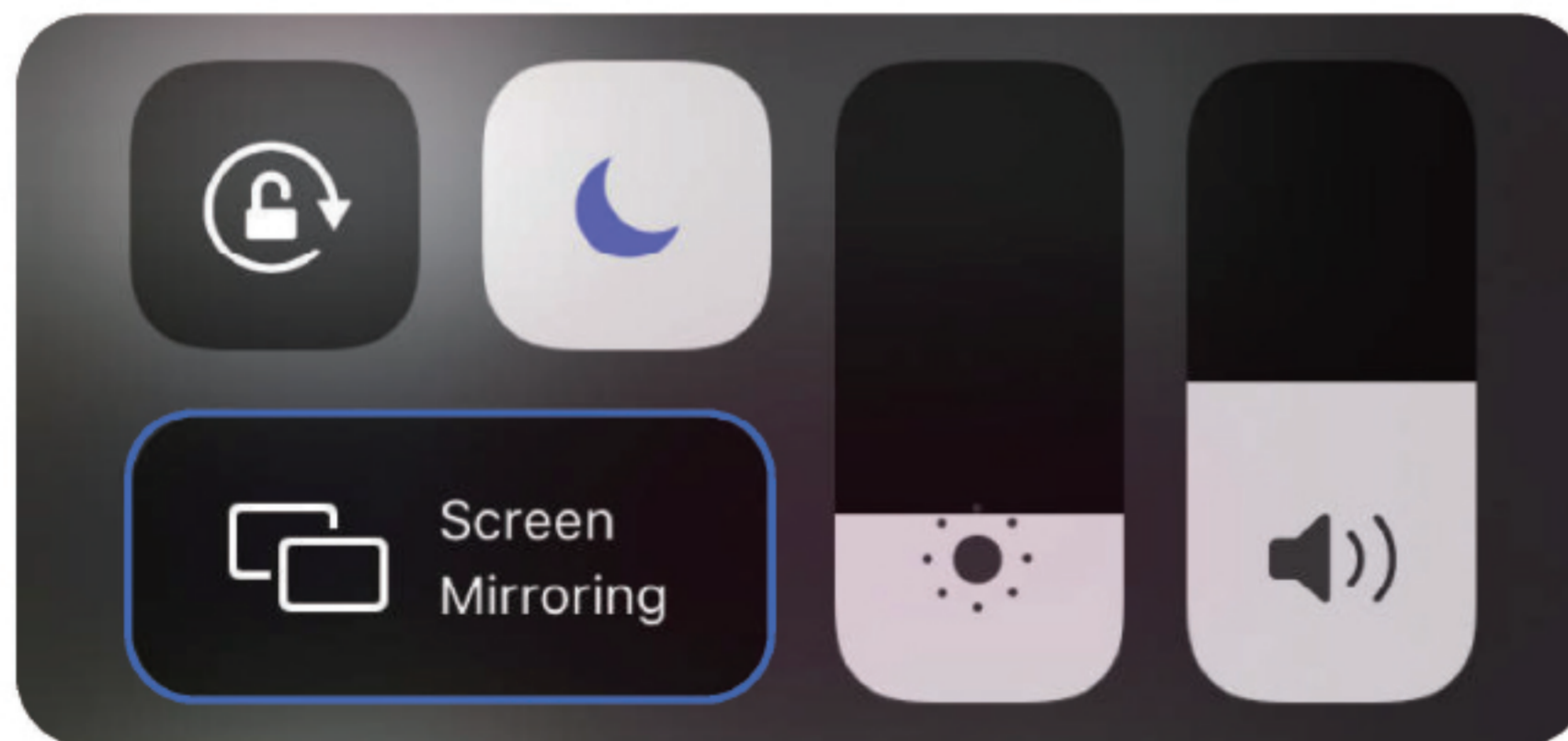


1. 携帯電話とプロジェクターをデータ ケーブルで接続し、ポップアップ ウィンドウで[信頼]を選択します。
2. 電話機にパスワードが設定されている場合は、確認のためにパスワードを入力する必要があります。自動的に画面をプロジェクターに共有します。



iOS デバイスがプロジェクターと同じネットワークに接続されていることを確認してください。

1. iOS デバイスで、コントロールセンターを開き、[画面ミラーリング]をクリックします。
2. ミラーリングできるデバイスを探しています。
3. リストからプロジェクター名を選択します。



Miracast

デバイスがプロジェクターと同じネットワークに接続されていることを確認してください。

1. Android モバイル/パッドで、設定メニューを開きます。
2. ディスプレイ設定または画面ミラーリングにアクセスします。
3. Miracast レシーバーを選択します。



Miracast receiver: xxxx-xxxx



Windows Cast

コンピューターがプロジェクターと同じネットワークに接続されていることを確認してください。

1. コンピュータで設定メニューを開きます。
2. ディスプレイ設定または画面ミラーリングにアクセスします。
3. プロジェクター名を選択します。



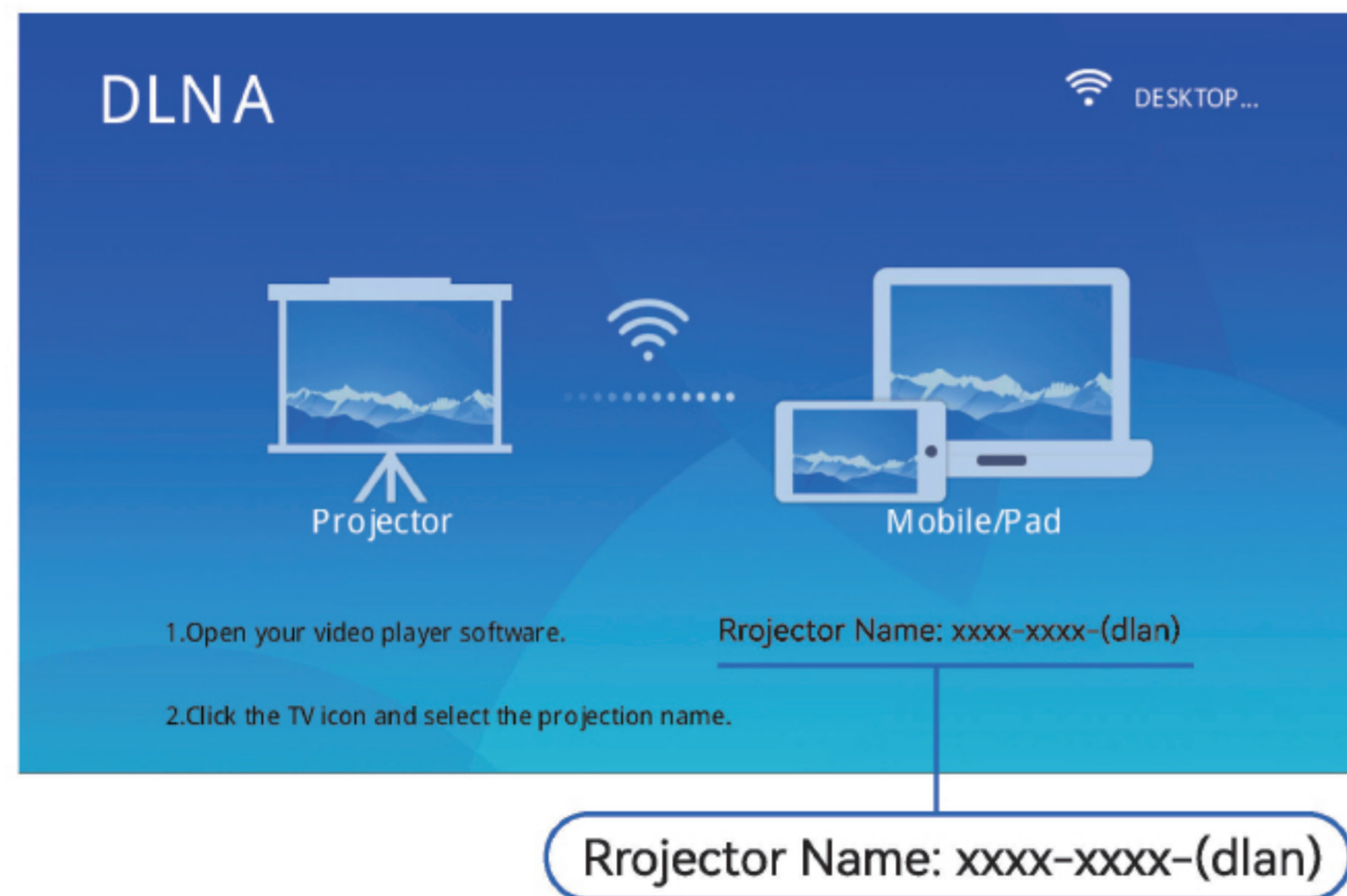
Miracast receiver: xxxx-xxxx



DLNA

モバイル/パッドがプロジェクターと同じネットワークに接続されていることを確認してください。

1. ビデオプレーヤーソフトウェアを開きます。
2. TV アイコンをクリックし、プロジェクター名を選択します。





ピクチャーモード設定

[セットアップ]-[画像設定]-[画像モード]に入り、標準 / ソフト / ユーザー / ビビッドモードを選択します。



アスペクト比の設定

[設定]-[画像設定]-[アスペクト比]に入り、自動 / 4:3 / 16:9 アスペクト比を選択します。



投影モードの設定

[セットアップ]-[画像設定]-[投影モード]に入り、前面投影 / 背面投影 / 天井投影 / 背面天井投影を選択します。



システムのアップグレード

A. アップグレードファイルを保存している USB をプロジェクターの背面にある USB ポートに差し込みます。

B. 「セットアップ」 - 「システム設定」 - 「アップグレード」と入力してシステムをアップグレードします。



Wi-Fi 設定

「セットアップ」 - 「接続設定」 - 「Wi-Fi」と入力して、Wi-Fi リストからワイヤレスネットワークを選択し、接続用のパスワードを入力します。



明るさの設定

[設定]-[画像設定]-[明るさ]に入り、通常 / ハイライトモードを選択します。



台形補正の設定

「設定」 -- 「画像設定」 - 「台形補正」と入力して、自動 / 手動台形補正を選択します。



言語設定

「セットアップ」 - 「システム設定」 - 「言語」と入力して言語を設定します。



工場出荷時設定を復元する

「セットアップ」 - 「システム設定」 - 「工場出荷時設定に戻す」と入力して、工場出荷時のデフォルト設定を復元します。



Bluetooth 設定

「セットアップ」 - 「接続設定」 - 「Bluetooth」と入力し、「検索」をクリックして Bluetooth デバイスを見つけます。

FCC Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Caution: Any changes or modifications to this device not explicitly approved by manufacturer could void your authority to operate this equipment.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.